

## 長野県原村と「災害時相互応援協定」を締結しました

5月2日(月)に長野県原村と「災害時相互応援協定」を締結しました。この協定は、相手方市町村で大規模な災害が発生した場合において、被害を受けた市町村の応急対策・復旧対策が円滑に遂行されるよう、職員の派遣や物資の提供をはじめとし、相互に応援することを定めたものです。県外市町村とのこうした協定の締結は、今回で5市町村となります。



## 戸倉カキ生産部会が海への転落者を救助し表彰

海へ誤って転落した釣り客を救助したとして、宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所戸倉カキ生産部会が、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部から表彰されました。事故当時、午前3時過ぎ気温3度と低体温や溺水による生命の危険が危惧されるなか、一瞬の判断のもと事故現場に駆けつけ的確な救助を行い、人命を救ったことが評価されたものです。



## 数え100歳 百寿のお祝い

満99歳を迎えた佐藤もとさん(㊤桜葉沢)に5月9日(月)、町から百寿のお祝い金と花束が贈られました。佐藤さんは生まれも育ちも南三陸町で、10人の子ども、9人の孫、13人のひ孫に恵まれました。ずっと休みなく働き、身体も丈夫だった佐藤さん。足が速く、75歳まで地域の運動会に出場していたそうです。物嫌いはなく、よく働き、身体が鍛えられたことが長生きの秘訣ではないかとご家族は語ります。これからもお体を大事にお過ごしください。

佐藤もとさん(㊤桜葉沢)

## 9年ぶりのみこし渡御

4月17日(日)、東日本大震災の津波で流失・倒壊した鳥居や社殿の修復が完了した戸倉神社にて春祭りのみこし渡御が行われました。通常、4年に一度行われるものですが、東日本大震災の影響で、9年ぶりの開催となりました。当日は、学生のボランティアも担ぎ手として加わり、雨風の中、各地区を回りました。



## 田束山を駆け抜ける ~マウンテンバイク大会~

5月8日(日)、たつがねMTB(マウンテンバイク)大会が田束山の山頂付近に設けられたコースにて行われました。眼下に広がるリアス式海岸や、田束山が誇るつつじを満喫できる大会で、今回で第22回目の開催となります。この日は、雲一つない青空の中、約100名の参加者が、キッズやビギナー、エリートクラスなどに分かれてタイムを競い合い、汗を流しました。



## 遊具に大はしゃぎ!

4月22日(金)、今年の3月に落成した戸倉保育所に徳島ロータリークラブから屋内用の木造遊具が寄贈されました。遊具は、徳島森林づくり推進機構や企業等の支援により、徳島県科学技術高等学校の生徒が製作したものです。寄贈されたシーソーやバス、積み木などに、子どもたちは遊具に大はしゃぎでした。



## サンオーレ袖浜復旧へ

5月11日(水)、海水浴場「サンオーレ袖浜」の復旧工事に伴う安全祈願祭が現地にて執り行われました。サンオーレ袖浜は、近くの荒島との景観美が特徴で、東日本大震災の前年には約5万人の観光客が訪れていました。復旧工事は、来年の海水浴シーズンの供用開始を目指し、トイレ棟やシャワー棟も含めた一体的な海滨公園の整備



震災前のサンオーレ袖浜

が行われる予定です。当日は、町長をはじめ、事業主体の県や工事関係者らが出席し、工事の安全を願いました。